

報告書目次

- 一、一般情勢報告
 - (一) 世界資本主義の情勢概観
 - 1. 恐慌の進展—資本攻勢と労働運動—フアツシヨの権威
 - 2. 世界戦争の危機—ロシアの社会主義建設
 - (二) 日本資本主義の情勢概観
 - 1. 恐慌の進展とインフレーション政策—戦争の危機とフアツシヨ権威
 - (三) 我國労働運動の大勢
 - 1. 大衆の権威の強化—統一運動の成果
 - (四) 全國労働の運動概観
 - 1. 本部會務報告
 - 2. 全國代表者會議報告—中央委員會議報告
 - 3. 特殊報告
 - (一) クラブ排撃運動に就て
 - 2. クラブ排撃運動の對策並に處断—クラブ排撃同盟の合同復讐經過
 - (二) フアツシヨ運動に對する對策と處断
 - 1. 黨本部への意見書問題—時局研究會問題—同盟の態度決定—フアツシヨ派の策動粉碎
 - (三) 人事に關する報告
 - 1. 中央委員移動—統制委員移動—專門部長移動—中央委員長及主事移動—關西事務局役員移動
 - 2. 各部報告

一、一般情勢報告

(一) 世界資本主義の情勢概観

(イ) 恐慌の進展

一九二九年の秋以來すでに滿三年を経た世界恐慌の新しい波は、株式恐慌に端を發して農業と工業の全部門を破壊混沌せしめ、更に進んでは金融恐慌へと發展しつゝあつたが、この傾向は過ぐる一ヶ年間を通じて未だ終熄してゐない。即ち當時各國を襲へる銀行破綻と赤字財政と及び又英國の金輸出禁止によつて決定的となつた世界の金本位制の破綻は過ぐる一ヶ年間を通じて、更に擴大され激化され來つた。英國の金本位停止に引きつゞいて印度、デンマルク、スエーデン、ノルウエー、フィンランド、ギリシャ及び日本は金輸出禁止を斷行し、ドイツ、イタリ、オーストリア、ハンガリー、オランダ、等々は爲替管理の手段に出ざるを得なくなり、「永久繁榮」を謳歌された合衆國でさへ十億ドルに近い金流出とそれに伴ふ銀行及び鐵道會社の破産續出を経験せざるを得なかつた。かくて全世界の全ての資本主義國はその金本位制度に致命的な打撃を受けた。

世界資本主義のこの危機を「政治的」に克服せんがために、世界のブルジョア階級は幾多の國際會議を召集した。賠償戰債問題、關稅障礙問題並びに金の偏在問題をブルジョア自身

(一) 爭議部

- 爭議の一般傾向—爭議内容の激化—全國労働の爭議
- (二) 組織部
 - 1. 我國労働組合の組織率—全勞内部の差別整理—全國労働の組織情勢
 - (三) 政治部
 - 1. 政治的危機の激化と無産政黨運動—全國労働大衆黨との協力—選挙闘争—社会大衆黨の成立
 - (四) 教育部
 - (五) 國際部
 - 1. 國際労働代表問題—國際反戰闘争
 - (六) 出版部
 - (七) 其他(略)
 - 五、時局闘争報告
 - (一) 戰線統一運動
 - 1. はしがき—クラブ内に於ける活動—日本労働組合會議の結成
 - (二) 労働立法獲得闘争
 - (三) 失業反對闘争
 - (四) メーデー闘争
 - (五) 其他
 - 1. フアツシヨ粉碎闘争—戦争反對闘争—栃木再建闘争—東北飢饉救済闘争
 - 2. 全國労働昭和七年度役員

の國際的協調を以て解決せんがために、彼等は國際經濟會議を召集し、世界戦争の危機の切迫を平和的宣傳によつて蔽はんがために軍縮會議を召集した。然し乍ら、かくの如き一切のあがきと欺瞞の裏に於てこそ、資本主義諸國間の對立が激化しつゝあるのであつて、彼等は夫々、或は在外短期投資を引上げて競争國の金融恐慌を激化せしめ、或は關稅障礙を更に高めて國外よりのダンピングに備へ、また進んで外國市場へのダンピングに狂奔しつゝある。就中賠償債問題を通じての各資本主義國の對立の尖鋭さは如何なる國際協調主義もこれを緩和することは出来なかつた。これらの諸問題解決のために本年六月から七月にかけてローザンヌに於て開催された國際經濟會議は、金問題及び關稅問題については遂に一指をも觸れることが出来ず、僅かに當面焦眉の急たるドイツ賠償問題に關して、從來のヤング案によるドイツの賠償義務を解除し新たに三十億マルクの歐州復興資金を三年後に支拂ふべしといふ決定を見たにすぎない。然もそれすら合衆國の賠償棒引を前提とするものであり、合衆國が絶対にその意思を持たないこと明らかである以上實は何等の決定でもないのだ。斯くて恐慌打開のためブルジョア階級の努力は悉く失敗に歸し、世界恐慌は次第に深まり、資本主義諸國の對立の激化は戦争の危機を更に激成してゐる。この矛盾と危機を表面的に糊塗せんがために、各國共に絶望的なインフレーション政策の強行によつて空景氣を煽らんとしつゝある。だがかくの如き人爲的な通貨政策によつては、たとへ時に物價又は株